

平成23年生活のしづらさなどに関する調査 (全国在宅障害児・者等実態調査) 結果の概要

平成25年6月28日
厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部 企画課

I 調査の概要

在宅の障害児・者等（これまでの法制度では支援の対象とならない方を含む。）の生活実態とニーズを把握することを目的とする。これまでの身体障害児・者実態調査及び知的障害児（者）基礎調査を拡大・統合して実施した。

(1) 調査の時期 平成23年12月1日現在

(2) 調査の対象 全国約4,500の国勢調査の調査区※1に居住する在宅の障害児・者等（障害者手帳所持者※2又は障害者手帳は非所持であるが、長引く病気やけが等により生活のしづらさがある者※3）を対象とした。

調査票配布数24,154人、調査票回収数16,531人（回収率68.4%）、有効回答数14,243人であった。

※1 岩手県、宮城県、福島県、仙台市、盛岡市、郡山市及びいわき市については、東日本大震災の影響により、調査を実施していない。

※2 身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳

※3 本人又はその家族等から「眼鏡などを使っても見えにくい」「音が聞こえにくい」「歩いたり階段を上り下りすることが難しい」「思い出すことや集中することに困難を伴う」等の回答があった者。

(3) 調査方法 調査員が調査区内の世帯を訪問し、調査趣旨等を説明の上、調査対象者の有無を確認。

調査対象者がいる場合は、本人又はその家族等に調査票を手渡し、記入及び郵送による返送を依頼した上で、返送されてきた調査票の内容を集計。

(4) 推計方法 推計値については、全国推計人口（平成23年10月1日現在）に、本調査の調査対象地区の世帯人員数に占める調査対象者の割合（約5.9%（＝調査地区内の調査対象者の出現率））及び、調査票が回収されたもののうち回答があった者数に占める各項目の回答数の割合を掛けて算出。

II 調査結果の概要

※ 推計値は100の位を、構成割合は小数点以下第2位を、それぞれ四捨五入しているため、必ずしも総数と一致しないものがある。

1 障害者手帳所持者数等（推計値）

今回の調査結果によると、障害者手帳所持者数は、4,791,600人と推計される。

このうち、身体障害者手帳が3,863,800人、療育手帳が621,700人、精神障害者保健福祉手帳が567,600人となっている。

表1 障害の種類別にみた障害者手帳所持者数等

(単位：千人)

	障害者手帳所持者	障害者手帳の種類（複数回答）			障害者手帳非所持かつ自立支援給付等を受けている者	
		身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者保健福祉手帳	※1	※2
平成23年	4,792	3,864	622	568	320	
前回※3	—	3,576	419	—	—	
対前回は (%)	—	108.1	148.4	—	—	

※1 例えば、精神障害者保健福祉手帳を所持していないが、精神科医療機関に通院している者。

※2 本調査の対象となった障害者手帳非所持で、自立支援給付等非受給者数の推計値については、1,888千人（65歳未満439千人、65歳以上（不詳含む）1,449千人）であり、うち、障害による日常生活を送る上での生活のしづらさがある者の推計値は、1,329千人（65歳未満293千人、65歳以上（不詳含む）1,035千人）。また、そのうち、福祉サービスを利用しておらず、福祉サービスの利用を希望する者の推計値は、201千人（65歳未満60千人、65歳以上（不詳含む）141千人）。

※3 身体障害者（児）については平成18年調査の結果、知的障害者（児）については平成17年調査の結果。ただし、前回調査の数値は、手帳所持者数と手帳は所持していないが同等の障害を有する者数との合計数。

2 障害種別にみた身体障害者手帳所持者数（推計値）

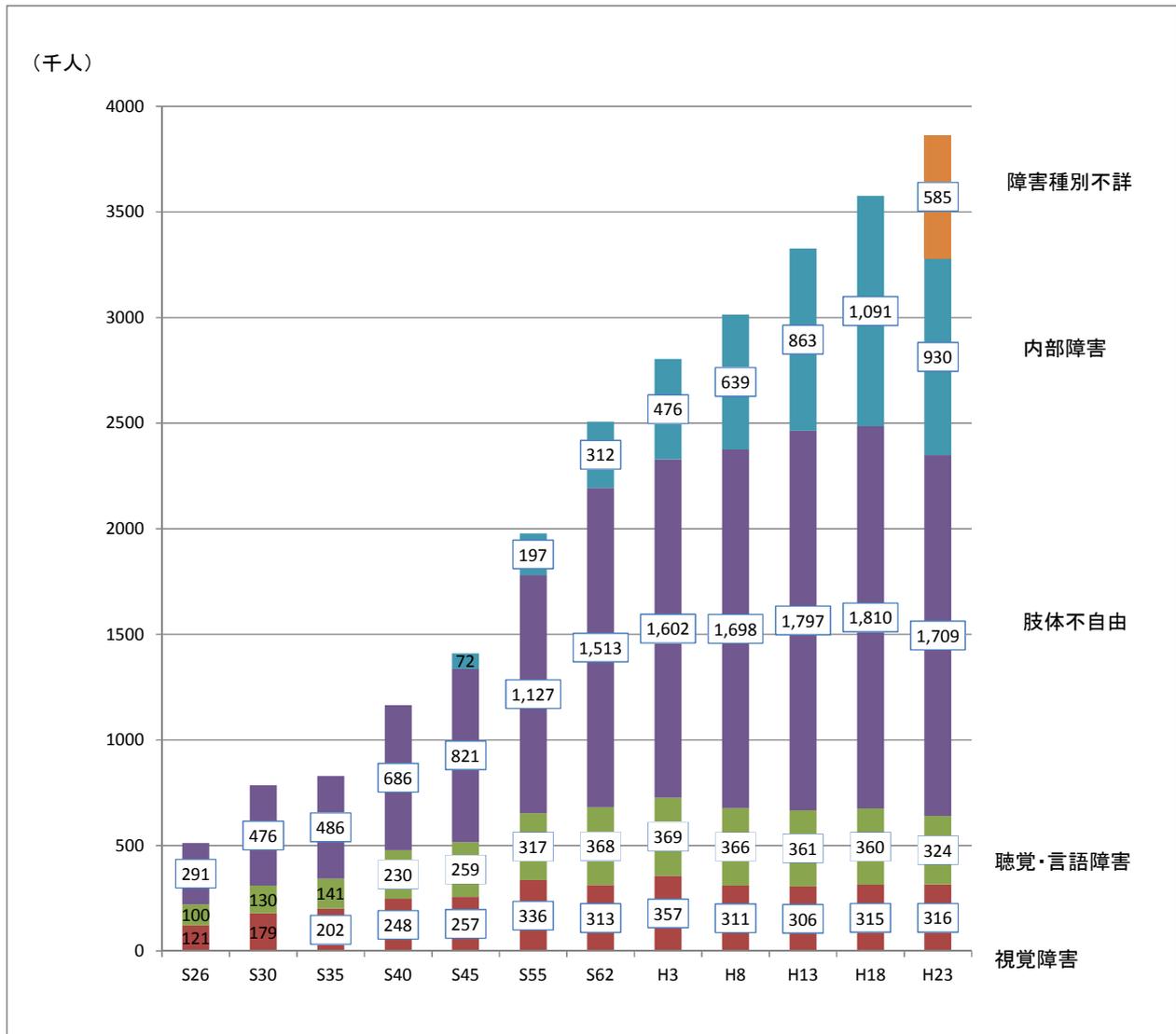
障害種別では、肢体不自由の割合が最も高く、全体の44.2%となっている。

表2 障害の種類別にみた身体障害者手帳所持者数

(単位：千人)

	総数	視覚障害	聴覚・言語障害	肢体不自由	内部障害	不詳
平成23年	3,864 (100.0)	316 (8.2)	324 (8.4)	1,709 (44.2)	930 (24.1)	585 (15.1)
平成18年	3,576 (100.0)	315 (8.8)	360 (10.1)	1,810 (50.6)	1,091 (30.5)	—

図1 障害の種類別に見た推移



3 年齢階級別に見た身体障害者手帳所持者数 (推計値)

年齢階級別にみると、65歳以上の増加が顕著であり、前回に比べ444千人(20.1%)増加している。

表3 年齢階級別身体障害者手帳所持者数

(単位：千人)

	総数	年齢階級 (歳)										
		0～9	10～17	18・19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～	不詳
平成23年	3,864 (100.0)	40 (1.0)	33 (0.9)	10 (0.3)	57 (1.5)	110 (2.8)	168 (4.3)	323 (8.4)	443 (11.5)	439 (11.4)	2,216 (57.3)	25 (0.6)
										2,655 (68.7)		
平成18年	3,576 (100.0)	41 (1.1)	52 (1.5)	12 (0.3)	65 (1.8)	114 (3.2)	182 (5.1)	470 (13.1)	394 (11.0)	436 (12.2)	1,775 (49.6)	35 (1.0)
										2,211 (61.8)		
対前回比 (%)	108.1	97.6	63.5	83.3	87.7	96.5	92.3	68.7	112.4	100.7	124.8	71.4
										120.1		

4 療育手帳所持者数（推計値）

程度別にみると、重度、その他ともに増加しており、前回に比べ203千人（48.4%）増加している。

表4 障害の程度別にみた療育手帳所持者数

（単位：千人）

	総数	重度	その他	不詳
平成23年	622 (100.0)	242 (38.9)	303 (48.7)	77 (12.4)
平成17年	419 (100.0)	165 (39.4)	204 (48.7)	50 (11.9)
対前回比 (%)	148.4	146.7	148.5	154.0

表5 年齢階級別療育手帳所持者数

（単位：千人）

	総数	年齢階級（歳）								
		0～17	18～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～	不詳
平成23年	622 (100.0)	152 (24.4)	23 (3.7)	112 (18.0)	127 (20.4)	77 (12.4)	43 (6.9)	26 (4.2)	58 (9.3)	4 (0.6)
平成17年	419 (100.0)	117 (27.9)	21 (5.0)	84 (20.0)	85 (20.3)	44 (10.5)	32 (7.6)	10 (2.4)	15 (3.6)	12 (2.9)
対前回比 (%)	148.4	129.9	109.5	133.3	149.4	175.0	134.3	260.0	386.7	33.3

5 精神障害者保健福祉手帳所持者数（推計値）

等級別にみると、2級の手帳所持者が最も多く、全体の53.5%となっている。また、年齢階級別にみると、40歳～49歳が最も多く、全体の21.0%となっている。

表6 等級別にみた精神障害者保健福祉手帳所持者数

（単位：千人）

	総数	1級	2級	3級	不詳
平成23年	568 (100.0)	115 (20.2)	304 (53.5)	129 (22.7)	20 (3.5)

表7 年齢階級別精神障害者保健福祉手帳所持者数

（単位：千人）

	総数	年齢階級（歳）								
		0～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～	不詳
平成23年	568 (100.0)	11 (1.9)	33 (5.8)	98 (17.3)	119 (21.0)	96 (16.9)	61 (10.7)	35 (6.2)	109 (19.2)	5 (0.9)

（注）なお、患者調査による精神障害者数については、320.1万人となっている。

6 医師から発達障害と診断された者の数（本人・家族等からの回答に基づく推計値）

医師から発達障害と診断された者の数（推計値）については、318 千人である。

7 医師から高次脳機能障害と診断された者の数（本人・家族等からの回答に基づく推計値）

医師から高次脳機能障害と診断された者の数（推計値）については、422 千人である。

※ 以降は、有効回答数に基づく集計結果である。

8 生活のしづらさの頻度

生活のしづらさの頻度についてみると、65歳未満、65歳以上（年齢不詳を含む。）ともに「毎日」の割合が最も多くなっている。

表8 生活のしづらさの頻度の状況

（65歳未満）

	障害者手帳 所持者	障害者手帳の種類（複数回答）			手帳非所持で、自立支援 給付等を受けている者	手帳非所持で、自立支援 給付等を受けていない者
		身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者 保健福祉手帳		
総 数	3,971 (100.0%)	2,408 (100.0%)	1,139 (100.0%)	852 (100.0%)	231 (100.0%)	893 (100.0%)
毎 日	1,511 (38.1%)	964 (40.0%)	438 (38.5%)	311 (36.5%)	78 (33.8%)	337 (37.7%)
1週間に3～6日程度	257 (6.5%)	150 (6.2%)	57 (5.0%)	82 (9.6%)	20 (8.7%)	71 (8.0%)
1週間に1～2日程度	288 (7.3%)	165 (6.9%)	70 (6.1%)	76 (8.9%)	27 (11.7%)	55 (6.2%)
2週間に1～2日程度	124 (3.1%)	71 (2.9%)	28 (2.5%)	39 (4.6%)	9 (3.9%)	23 (2.6%)
1ヶ月に1～2日程度	253 (6.4%)	145 (6.0%)	66 (5.8%)	61 (7.2%)	17 (7.4%)	46 (5.2%)
その他	249 (6.3%)	149 (6.2%)	64 (5.6%)	64 (7.5%)	13 (5.6%)	65 (7.3%)
特に生活のしづらさは無かった	1,089 (27.4%)	648 (26.9%)	344 (30.2%)	181 (21.2%)	57 (24.7%)	241 (27.0%)
不 詳	200 (5.0%)	116 (4.8%)	72 (6.3%)	38 (4.5%)	10 (4.3%)	55 (6.2%)

（65歳以上（年齢不詳を含む））

	障害者手帳 所持者	障害者手帳の種類（複数回答）			手帳非所持で、自立支援 給付等を受けている者	手帳非所持で、自立支援 給付等を受けていない者
		身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者 保健福祉手帳		
総 数	5,779 (100.0%)	5,454 (100.0%)	126 (100.0%)	303 (100.0%)	420 (100.0%)	2,949 (100.0%)
毎 日	2,709 (46.9%)	2,570 (47.1%)	50 (39.7%)	134 (44.2%)	262 (62.4%)	1,429 (48.5%)
1週間に3～6日程度	340 (5.9%)	323 (5.9%)	9 (7.1%)	18 (5.9%)	24 (5.7%)	184 (6.2%)
1週間に1～2日程度	348 (6.0%)	325 (6.0%)	9 (7.1%)	24 (7.9%)	31 (7.4%)	194 (6.6%)
2週間に1～2日程度	112 (1.9%)	106 (1.9%)	4 (3.2%)	8 (2.6%)	8 (1.9%)	76 (2.6%)
1ヶ月に1～2日程度	245 (4.2%)	236 (4.3%)	7 (5.6%)	13 (4.3%)	16 (3.8%)	96 (3.3%)
その他	246 (4.3%)	225 (4.1%)	9 (7.1%)	18 (5.9%)	11 (2.6%)	128 (4.3%)
特に生活のしづらさは無かった	1,254 (21.7%)	1,193 (21.9%)	25 (19.8%)	59 (19.5%)	48 (11.4%)	619 (21.0%)
不 詳	525 (9.1%)	476 (8.7%)	13 (10.3%)	29 (9.6%)	20 (4.8%)	223 (7.6%)

9 福祉サービスの利用希望

福祉サービスの利用希望についてみると、65歳以上（年齢不詳を含む。）の手帳非所持で、自立支援給付等を受けている者において、「1週間に1～2日程度」が19.5%と最も多くなっているが、それ以外では、「利用したくない」の割合が最も多くなっている（「わからない」及び「不詳」の回答を除く）。

表9 福祉サービスの利用希望の状況

（65歳未満）

	障害者手帳 所持者	障害者手帳の種類（複数回答）			手帳非所持で、自立支援 給付等を受けている者	手帳非所持で、自立支援 給付等を受けていない者
		身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者 保健福祉手帳		
		総数	3,971 (100.0%)	2,408 (100.0%)		
毎日	138 (3.5%)	90 (3.7%)	60 (5.3%)	29 (3.4%)	4 (1.7%)	13 (1.5%)
1週間に3～6日程度	176 (4.4%)	126 (5.2%)	55 (4.8%)	38 (4.5%)	4 (1.7%)	9 (1.0%)
1週間に1～2日程度	219 (5.5%)	122 (5.1%)	78 (6.8%)	60 (7.0%)	4 (1.7%)	34 (3.8%)
わからない	778 (19.6%)	395 (16.4%)	280 (24.6%)	201 (23.6%)	45 (19.5%)	207 (23.2%)
利用したくない	1,349 (34.0%)	906 (37.6%)	273 (24.0%)	248 (29.1%)	112 (48.5%)	403 (45.1%)
不詳	1,311 (33.0%)	769 (31.9%)	393 (34.5%)	276 (32.4%)	62 (26.8%)	227 (25.4%)

（65歳以上（年齢不詳を含む））

	障害者手帳 所持者	障害者手帳の種類（複数回答）			手帳非所持で、自立支援 給付等を受けている者	手帳非所持で、自立支援 給付等を受けていない者
		身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者 保健福祉手帳		
		総数	5,779 (100.0%)	5,454 (100.0%)		
毎日	184 (3.2%)	170 (3.1%)	5 (4.0%)	13 (4.3%)	29 (6.9%)	110 (3.7%)
1週間に3～6日程度	324 (5.6%)	304 (5.6%)	12 (9.5%)	16 (5.3%)	43 (10.2%)	167 (5.7%)
1週間に1～2日程度	493 (8.5%)	465 (8.5%)	8 (6.3%)	39 (12.9%)	82 (19.5%)	308 (10.4%)
わからない	880 (15.2%)	835 (15.3%)	25 (19.8%)	50 (16.5%)	73 (17.4%)	637 (21.6%)
利用したくない	1,535 (26.6%)	1,478 (27.1%)	19 (15.1%)	55 (18.2%)	70 (16.7%)	957 (32.5%)
不詳	2,363 (40.9%)	2,202 (40.4%)	57 (45.2%)	130 (42.9%)	123 (29.3%)	770 (26.1%)

10 手帳非所持で、自立支援給付等を受けていない者の生活のしづらさ等の状況

本調査の対象となった手帳非所持で、自立支援給付等を受けていない者のうち、70.4%が障害による日常生活を送る上での生活のしづらさがある。そのうち、福祉サービスを利用しておらず、福祉サービスの利用希望がある者は、15.1%である。

表10-1 手帳非所持で、自立支援給付等を受けていない者の生活のしづらさ等の状況

	総数		
		65歳未満	65歳以上
手帳非所持で、自立支援給付等を受けていない者	3,842 (100.0%)	893 (100.0%)	2,949 (100.0%)
障害による日常生活を送る上での生活のしづらさがない者	860 (22.4%)	241 (27.0%)	619 (21.0%)
障害による日常生活を送る上での生活のしづらさがある者 - (a)	2,704 (70.4%)	597 (66.9%)	2,107 (71.4%)
不詳	278 (7.2%)	55 (6.2%)	223 (7.6%)

(注) 障害による日常生活を送る上での生活のしづらさがある者は、表8の「特に生活のしづらさはなかった」及び「不詳」以外の合計

表10-2 障害による日常生活を送る上での生活のしづらさがある者の福祉サービスの利用等の状況

		総数		
			65歳未満	65歳以上
障害による日常生活を送る上での生活のしづらさがある者 - (a)		2,704 (100.0%)	597 (100.0%)	2,107 (100.0%)
福祉サービスを利用している者		876 (32.4%)	23 (3.9%)	853 (40.5%)
福祉サービスを利用していない者		1,224 (45.3%)	371 (62.1%)	853 (40.5%)
(福祉サービスの利用希望状況)	福祉サービスの利用希望がある者	408 (15.1%)	122 (20.4%)	286 (13.6%)
	毎日利用したい	14 (0.5%)	7 (1.2%)	7 (0.3%)
	1週間に3～6日程度	13 (0.5%)	3 (0.5%)	10 (0.5%)
	1週間に1～2日程度	80 (3.0%)	13 (2.2%)	67 (3.2%)
	わからない(注)	301 (11.1%)	99 (16.6%)	202 (9.6%)
	利用したくない	521 (19.3%)	213 (35.7%)	308 (14.6%)
	不詳	107 (4.0%)	36 (6.0%)	71 (3.4%)
不詳		792 (29.3%)	203 (34.0%)	589 (28.0%)

(注) 支援が必要なのに制度が利用できるか明確にわからない場合は、「わからない」を選択。